

# すいた 社協だより

2023.9  
vol.130

- 1 面：善意銀行
- 2 面：ボランティアセンター
- 3 面：地区福祉委員会
- 4 面：吹田市社協からのお知らせ

吹田市社協  🔍 検索

発行・編集 / 社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会 〒564-0072 吹田市出口町19-2(総合福祉会館2階) TEL.06-6339-1205 FAX.06-6170-5800

プルタブのご寄付をいただきました

コミュニティサロンで選別作業中

## つながっています 善意の橋渡し

車いすは福祉教育や必要とされる方への貸し出し等で活用しています!

プルタブ約800kgで車いす1台と交換!

皆さんの生活に身近な「プルタブ」や「使用済み切手」、実は「善意の橋渡し」につながることをご存知ですか?善意銀行では、市民の皆さんから寄付金や物品をお預かりし、「善意の橋渡し」に取り組んでいます。

### プルタブ

ご寄付いただいたプルタブは、ボランティアによる選別作業が行われ、収集団体に送付します。

約800kgに達すると、車いす1台と交換でき、すでに10台の車いすと交換しています。交換した車いすは、市民への貸し出しや小中学校での福祉教育で活用します。

※収集時はケガをしないよう、ご注意ください。



### 使用済み切手

使用済み切手も、ボランティアによる整理作業が行われ、知的ハンディキャップの問題を普及啓発されている福祉団体に送付します。

その後、しおりやキーホルダーに生まれ変わり、商品として販売され、その収益が団体の活動を支えています。



### 現金・物品

現金や介護用品などのご寄付も受け付けています。介護用品は市内の福祉施設へ、寄付金は、児童養護施設で生活している子どもたちへのお年玉としてお渡しさせていただくほか、火災などの災害に遭われた方への見舞金などとして橋渡しを行っています。

※一部お受けできない物品もございます。一度ご相談ください。

プルタブや使用済み切手の収集や選別など、皆さんの「ちょっとやってみようかな」をサポートしています! 2面をご覧ください。

すいた社協だよりは、自治会はじめ地域諸団体の協力を得て配布いただいています。



# すてきなご縁をつくります♪

## ～吹田市社協ボランティアセンター～

ボランティアセンターは、「ボランティアをしたい・してほしい」の想いをつなぐコーディネートをしています。あなたらしいボランティア活動をはじめてみませんか?あなたの「やってみたい」をサポートします。

### 誰でも気軽に参加! コミュニティサロンでボランティア



コミュニティサロンは、使用済切手の整理やプルタブの選別など、初めてでも気軽に参加できるボランティア活動です。どなたでも参加でき、参加者の居場所にもなっています。



自分のペースで、皆さんと楽しくおしゃべりしながら活動できるので、とてもありがたいです。初めて参加した時も、皆さん気軽に声をかけてくれて、とても入りやすかったです。これからも続けて参加したいです。

### 高齢者の<sup>はてな</sup>?を解決! スマホ講座ボランティア



スマホ講座は、スマホを使い慣れていない高齢者を対象に、操作に慣れてもらうきっかけとして実施しています。講座には多くのボランティアが参加し、特に学生などの若者が活躍しています。コミュニケーションを楽しみながら、「得意」を活かしてもらっています!

参加者の方と楽しくコミュニケーションをとりながら、日頃感じておられるスマホの使い方についての疑問を解消するお手伝いができ、とても良い経験になりました。



### 他にもあります!さまざまなボランティア活動



傾聴活動や歌体操など、ボランティア養成講座を受講し、ボランティアとして活躍されています。講座でスキルを身に付けてから活動できます。

一人ひとりの希望をお聞きして、ボランティアのコーディネートを行っています。お気軽にボランティアセンターにお問い合わせください。



さまざまな特技や趣味を活かしたボランティア活動ができます。個人で活動する他、グループに所属して活動することもできます。

### ボランティアの輪を広げます

吹田のまちでボランティアの輪が広がるように支援をしています。

#### 広報・啓発活動

広報紙「ボランティア連絡会SUITAすまいる」を年3回発行し、ボランティア活動の広報・啓発に努めています。



#### ボランティア連絡会

さまざまな分野のセンター登録グループが任意で集まり、情報交換等を図り、ボランティア活動がより活発になるよう取り組んでいます。



すいた社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金を活用して発行しています。



地区福祉  
委員会

# コロナ禍を乗り越えて 「地域のつながりづくり」をつづけています

地区福祉委員会とは、地域のつながりづくりや住民同士の支え合い活動に取り組む住民組織です。市内33の地区福祉委員会が、主に小学校区単位で活動しています。

高齢者や子育て中の親子が身近な地域で集える居場所づくり等に取り組んでおり、コロナ禍で対面でのふれあいが制限されていた中でも、工夫して地域のつながりづくりを続けてきました。

## 笑顔の「ふれあい昼食会」を再開!

岸部  
地区

岸部地区福祉委員会では、コロナ禍で休止していたひとり暮らし高齢者を対象とした、ふれあい昼食会を本年度より再開しました。参加者が100名を超える岸部地区では、参加者がより身近な場所で参加できるように、会場を3か所に分けて実施しています。

久しぶりの昼食会ではおしゃべりに花が咲き、楽しく過ごされる皆さんの笑顔があふれていました。福祉委員や民生・児童委員の皆さんも参加者一人ひとりに「元気にしてた?」「困ったことない?」と声かけをし、交流しました。参加者が増える中で、皆さんに楽しんでもらえるように工夫しながら活動をしています。



## 心もおなか也大満足!「ふれあい昼食会」を再開!

山五  
地区

山五地区福祉委員会では、コロナ禍でふれあい昼食会が開催できなくなった時、高齢者がつながり続けられる方法を考え、真っ先に地区の活動拠点でお弁当を配布する「ふれあい外出配食」に取り組みました。

コロナが落ち着きを見せ始めた本年5月からは、早々にふれあい昼食会「山南会<sup>やまなみかい</sup>」を再開し、久しぶりに参加者と一緒に食事をしながら会話を楽しみました。参加者によるピアノ演奏もあり、心もおなか也大満足される昼食会でした。参加者のことを考えて、柔軟に内容を変化させ活動に取り組んでいます。



## 保育園も協力!笑顔あふれる子育てサロン

津雲台  
地区

津雲台地区福祉委員会では、「地域の親子にひとりぼっちになってほしくない!」という思いで、子育てサロンを実施しています。福祉委員が子どもと遊んだり見守りを行うことで、保護者にとって安心して仲間づくりや交流ができる場になっています。また、近隣の私立保育園「あやめ保育園」の協力により、地域担当の保育士が参加し、子育てに役立つ情報や親子で楽しめる遊びを提供しています。

津雲台地区の子育てサロンの特色として、男性の福祉委員さんが参加されており、子どもたちに「たかいたかい〜」をしてあげるなど好評です。

温かい雰囲気、初めて参加される方も気軽に参加できる子育てサロンです。



これからも、社協だよりでは各地区福祉委員会の活動をご紹介します。



# 吹田市社協からののお知らせ

〒564-0072 吹田市出口町19-2総合福祉会館2階

●総務課 TEL06-6339-1205  
 ●地域福祉課 TEL06-6339-1254  
 ●ボランティアセンター TEL06-6339-1210  
 ●日常生活自立支援係 TEL06-6339-5700  
 FAX……………06-6170-5800(共通)  
 E-mail…suisyakyo@mua.biglobe.ne.jp

## 吹田市社協の 新役員が決定しました

6月20日に本会の評議員会および新理事会が開催され、下記の通り決定しました。  
 任期は令和5年6月20日から令和6年度会計の最終の定時評議員会の終結までとなります。これからも新理事を中心に地域福祉を推進します。

会長	櫻井 和子	理事	大山 達也
副会長	栗田 智代	理事	川西 克幸
副会長	奥谷 義信	理事	森 俊弘
副会長	木田 正章	理事	矢上 敬子
常務理事	北本 恒雄	理事	佐藤 裕之
理事	佐中 義定	理事	武内 慎吾
理事	渡邊 眞	監事	宮本 修
理事	大島 勝	監事	徳田 育朗
理事	木村 孝司	顧問	由佐 満雄
理事	坂田 潤一		

〔敬称略、順不同〕

### 新会長あいさつ

6月20日開催の理事会にて、引き続き会長に就任いたしました櫻井和子です。誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくりに、地域住民の皆さまや関係団体、民間社会福祉施設、吹田市等と協力して全力で取り組んでいきたいと思ひます。皆さまのご支援とご理解をどうぞよろしくお願ひいたします。



会長 櫻井 和子

## 子育て支援傾聴ボランティア養成講座

相手にゆっくり寄り添い、お話を聴く活動です。(5回連続講座)  
 ◆日時: 9月22日(金)、10月4日(水)、12日(木)、18日(水)、25日(水) いずれも午前10時10分から正午  
 ◆場所: 夢つながり未来館 ◆定員: 先着20名  
 ◆参加費: 2,000円  
 ◆申込み期間: 9月1日(金)から9月20日(水)  
 ◆問い合わせ: ボランティアセンター



## 歌体操ボランティア養成講座

歌体操のボランティア活動を始めるための5回講座です。  
 ◆日時: 10月6日(金)、13日(金)、20日(金)、27日(金)、11月10日(金) いずれも午前10時から正午  
 ◆場所: 総合福祉会館 ◆定員: 先着20名  
 ◆参加費: 無料  
 ◆申込み期間: 9月1日(金)から9月29日(金)  
 ◆問い合わせ: ボランティアセンター



## 赤い羽根共同募金への ご協力をお願いします。



赤い羽根共同募金は地域の身近な福祉活動を応援するための募金です。10月1日から12月25日の期間で実施いたします。吹田市内でご協力いただいた募金は、各地区で福祉活動に取り組む地区福祉委員会や大阪府内の福祉施設・団体の活動に役立てられています。

### お詫び

すいた社協だより129号の4ページ「令和4年度(2022年度)特別地域ふくし協力金(特別賛助会費)協力事業所一覧」内で、記載内容に誤りがありました。訂正して、深くお詫び申し上げます。

【誤】(有) ハートランドハーベスト  
 【正】(株) ハートランドハーベスト

## 令和4年度

## 事業報告

第4次地域福祉活動計画の中間年を迎え、33地区福祉委員会や関連7団体との懇談会を実施しました。今後の展望や吹田市社協への期待・提言をいただき、より一層多様な団体と連携・協働して取り組む原動力となりました。

- 地域共生社会の実現に向けて地域共生フォーラム 講演「ひとりぼっちをつくらないために」の開催やパネルディスカッションを行い、学校でも職場でも自宅でもない第3の居場所の必要性について周知啓発を行いました。
- 生活支援コーディネーターとCSWが中心となり、身近な地域で高齢者の生活支援について検討する場「地域検討会」を実施し、スマホ講座や買い物支援のマップ化など各地域で特色のある取り組みを企画・実施しました。
- 災害時に備え、市内3つのライオンズクラブ、大阪などがわ市民生活協同組合と災害支援の協定を締結しました。吹田市社協としては災害時にも継続した事業運営ができるようBCP(事業継続計画)策定に向けて取り組みました。
- ボランティア活動への参加のきっかけづくり、ボランティア同士のネットワーク強化を目指し、第1回ボランティアセンターまつりを開催し、多くの方にご参加いただきました。
- 権利擁護支援の仕組みづくりを考える機会として、権利擁護支援セミナーを開催しました。また日常生活自立支援事業を紹介する動画を作成、配信しました。

### 令和4(2022)年度 社会福祉事業会計決算報告 (資金収支計算書より)

収入		支出	
	金額(千円)		金額(千円)
会費収入	11,955	法人運営事業	199,654
寄付金収入	15,073	ボランティア活動推進事業	456
経常経費補助金収入	86,271	小地域ネットワーク事業	27,323
受託金収入	151,726	善意銀行事業	2,799
事業収入	2,080	共同募金配分金事業	4,038
受取利息配当金収入	6,380	日常生活自立支援事業	26,460
その他収入	833	生活困窮者自立支援事業	13,945
当期収入計①	274,318	福祉ボランティア基金事業	1,539
		当期支出計②	276,214

当期収支差額(①-②) △ 1,896千円

プルタブありがとう!



令和5年6月末日現在、約322kg集まりました。

